

平成27年度 事務事業マネジメントシート

事業名	福祉会館事務管理事業			会計	款	項目	大	小
				01	03	01	04	01
政策	04	4節 誰もが充実した生涯をおくることのできる流山（市民福祉の充実）	主管課	社会福祉課				
施策	4-5	地域で支える福祉のまちづくり	主管課長	矢口 道夫				

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	福祉会館の利用者	意図	福祉会館を最適な状態で使用してもらう。
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> 全15福祉会館の通年開館を実施している。 公共施設予約システムの導入により自宅のパソコンで使用申請から許可までが可能となっている。 			
事業開始から現在までの状況変化	<ul style="list-style-type: none"> 全15福祉会館の通年開館を実施している。 公共施設予約システムの導入により自宅のパソコンで使用申請から許可までが可能となっている。 			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成25年度	平成26年度	平成27年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
	①	総合的な満足度の割合	98.40	98.30	98.50	%	→→
②							
③							
④							
指標で表すことができない定性的な成果							目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況） <ul style="list-style-type: none"> 15館中、市直営が4館、指定管理者制度導入施設が11館である。 直営4館についても順次指定管理者制度を導入していく。 突発的な小破修繕件数16件 施設満足度調査における意見・要望については、対応内容を各館に貼りだしている。
事務事業のコスト		平成25年度	平成26年度	平成27年度			
事務事業の総コスト(a=b+c)		53,651,536	47,274,156	38,837,860			
事業費(b)(円)		50,158,036	43,819,156	35,072,860			
うち一般財源		50,158,036	43,819,156	35,072,860			
職員給与費(c)(円)		3,493,500	3,455,000	3,765,000			
人役・職員(人)		0.50	0.50	0.50			
人役・再任用(人)							
人役・臨職(人)							
人役・嘱託(人)							
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）							
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）							

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性が高まると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	III 要改善（事業は継続するが、更なる改善が必要）					

(2) 事務事業の業務改善について

①今年度(H27)の改善計画	市民サービスを下げることなく経費の削減を行う。	③取組の課題	市民サービスが低下することのないよう、市民の立場に立って施設の維持管理を実施する。
②今年度(H27)に実施した取組	平成27年度から思井福祉会館の指定管理者制度を導入した。	④今後の改善計画	市民サービスを下げることなく経費の削減を行っていく。